

一般社団法人日本薬学生連盟(APS-Japan)

〒151-0072東京都渋谷区幡ヶ谷3丁目39-12ウェストビル1階

Email: apsjapan@apsjapan.org HP: https://apsjapan.org

記入日2024年11月16日

一般社団法人日本薬学生連盟 2025年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	馬越 春莉
立候補する役職	会長
大学/学部/学科	東京薬科大学/薬学部
学年	3年
所属	会長
日本薬学生連盟	2022年 外務統括補佐
での活動経歴	外務部、交換留学委員会 所属 2023年 副会長
	2024年 会長
立候補動機	約半年間、会長職に加えて薬学総合委員会の委員長の役割を担ってまいりました。その中で、会長を務めて初めて見えた多くの課題や過去と現在とのギャップ、委員会を実際に運営することにより見えた委員長やスタッフの視点など、数多くの新たな気づきを得ることができました。24年度の経験をもとに更に1年間団体運営に携わり、日本薬学生連盟の魅力を広めたいという想いから本役職に立候補いたします。
問題点と改善案	【問題点】 統括、委員長の相談相手の不足 【改善案】 補佐という役割を部署、委員会内で立てることが最善の解決策であると考えられます。しかし、現状すべての部門で補佐を立てることは困難です。 これを踏まえ、統括や委員長が会長、副会長または本部メンバー同士で気軽に相談できる環境づくりを目指します。そのひとつとして、会長、副会長外務理事、副会長内務理事それぞれに各役職の特性に関連する統括、委員長を振り分けて密なコミュニケーションを図り、進捗や課題を共有しやすい環境を作ります。 また、得られた情報は会長、副会長間にて共有し、団体全体の質向上に努めます。 【問題点】 団体内での動き方が分からないスタッフがいる 【改善案】 部署や委員会を越えたスタッフ向け資料を作成し、団体概要の確認や企画開催までのプロセス等、弊団体でやりたいことを見つけた際に各自で大枠を確認できる環境を作るとともに、誰に相談をすべきかをスタッフ向け資料の中で明確化したいと考えております。また、資料にて各部署や委員会の活動も紹介することで団体内でやりたいことを発見する一助にもなると予
	想されます。 【問題点】 団体の魅力低下 【改善案】 魅力が低下した原因の一つに企画数の減少が考えられます。しかし、数年間にわたって課題とされているスタッフ数の減少を考慮すると、企画数の減少は必然です。そこで、他の改善案として弊団体の特性を活かした25年度方針の決定と活動をしていきたいと考えます。 例えば、他の医療系学生団体との差異として薬学生が会員のほとんどを占めていることが挙げられます。そのため、薬学生に焦点をあて、進路について考える機会を提供する等は他の医療系学生団体よりも行いやすいと言えます。 上記は一例となりますが、全国各地に会員が存在することや、IPSFに所属しており薬学分野における国際的な強みを持っているなど、様々な魅力があります。このように弊団体特有の魅力を最大限に活かして活動していくことが、必要不可欠であると考えます。
活動計画	4月 団体の方針決定 システムの見直し 通年活動計画の作成 本部対面ミーティング 新歓 5月 部署、委員会別ミーティング



一般社団法人日本薬学生連盟(APS-Japan)

〒151-0072東京都渋谷区幡ヶ谷3丁目39-12ウェストビル1階

Email: apsjapan@apsjapan.org HP: https://apsjapan.org

所信	登記登録完了 6月 代表理事変更完了 7月 スタッフマニュアル完成 8月 国際会議出席 9月 本部対面ミーティング 上半期活動分析に伴う下半期活動計画の見直し 10月 薬学生ジャンボリー 11月 本部選挙 12月 26年度本部メンバーへの引継ぎ 2月 本部補欠選挙 本部対面ミーティング 3月 年会 26年度へ引継ぎ 【通年】 ミーティング準備、メール対応、部署・委員会フォロー 等 私の座右の銘は「常に笑顔で全力で」です。 これは、人と円滑なコミュニケーションを取るためには笑顔が重要であること、また、まずは私が誰よりも真剣に取り組むことで周囲を巻き込める存在になりたいという想いから大切にしている考え方です。 この座右の銘に則して団体内外に目を向け、多くの人と自ら関わりを持ち、様々な人を巻き込みながら団体運営を行いたいと考えております。 一方で、24年度はその想いに反して会長を務めるにあたって責任感に潰され笑顔が絶えるときや、全力を尽くせたのかと自問自答をすることもありました。しかし、このような状況におかれても、「日本薬学生連盟の仲間と継続的に関わりを持ちたい」という想いは変化しませんでした。25年度もこの団体に対する根本的な気持ちを忘れず、この想いを周囲の人に伝播させられるよう、積極的なコミュニケーションを心掛けていく所存です。
	最後に、2年間継続的に会長を務めることを利点と捉え、24年度の反省点の改善に努め、団体をより良い方向へ導くために最善を尽くします。